

資料名	入札資料 利用ガイド
対象品目	消防設備点検及び防火対象物点検

資料編

■入札用件取りまとめ上の留意した点

No.	項目	内容
1	対象取引設定	① 対象物件、対象設備を示す。 ② 点検業務に伴い、留意すべきことをまとめる。
2	中小企業への配慮	① 物件別の業務実施日程をできるだけ分散させる。(巡回して対応可能にする) ② 対象設備を平面図などの図面、ないし過去の点検結果報告書コピーで示し、現場訪問しなくても費用を積算できるようにする。

■入札資料作成上の留意した点

No.	頁	大項目	小項目	内容・チェックポイント
1	P.1	表紙	更新日	・仕様書のバージョン管理にご使用下さい。過年度からの変更点を管理する上で有益です。
2	P.2	入札概要	問い合わせ先	・入札担当者から問い合わせがあった際の担当官の情報を記載して下さい。 ・担当者名を記載することにより、入札を円滑に実行できます。
3	P.3	スケジュール	スケジュール	・スケジュールの設定については、法律、内規等を遵守し、それらに定められた予定金額に応じた日程規則に基づき設定して下さい。なお、民間企業の取引では、不正防止の観点から、案件開示から入札まで2週間を目処としている場合があります。
4	P.4	仕様書	仕様	・別添資料として、設備のわかる平面図など図面を準備して下さい。
5	P.6	付帯条件通知書	窓口対応	・土日祝でも連絡がつく必要があるとお考えの場合は必要な時間をご記入下さい。ただし、コスト増要因になります。
6	P.6	付帯条件通知書	窓口対応	・緊急時に最低限必要なことを記載して、発注者・受注者の間で認識違いをおきないようにします。
7	P.8	別添資料②	前提条件	本シートに消防設備、防火対象設備を明示した平面図などを添付するか、過去の点検結果報告書(取引先名、点検実施者を見せないようにして下さい)を添付して下さい。また、その資料の名称を別添資料①の資料 No.の欄に記入して下さい。
8	P.9	入札金額構成書 (発注者用)	前提条件	・本シートは入札予定金額の計算のためのみに使用するため、対外的に公開しません。
9	P.10	入札金額構成書	前提条件	・落札金額の見積内容を把握することにより、実勢価格が把握できると共に翌年度以降に入札予定価格を積算する際、参考資料してご利用いただけます。